

# 科学的社會認識を育てる授業研究～主体的・対話的で深い学びの創造～

## 1 主題設定の理由

本部会ではこれまで、「科学的社會認識を育てる授業研究」を研究テーマに掲げ研究を推し進めてきている。

「社會認識」とは、社會の事象・事実の本質を客觀的に把握することである。社會科において、わかる授業づくりを進め教科の目標を確実に実現するためには、子どもたちの社會認識を着実に育成することが大切であると本部会では考えた。さらに、社會の事象・事実の本質を客觀的に把握することは社會科学の手法に基づいて進められることから、社會認識を「科学的社會認識」としてその育成に焦点をあてて部会研究を推し進めてきている。

2015年度からは「社會科における言語活動の充実」という面から研究を進めてきた。

昨今、「単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと」が重視されている。

こうしたことから、昨年度から「科学的社會認識を育てる授業研究～主体的・対話的で深い学びの創造～」を研究テーマとして掲げ、部会研究を進めることとした。

「科学的社會認識」については、大森昭夫氏の「新社會教育基本用語辞典」（明治図書）等で解説されている。「社會について科学的に認識するとはどういうことなのか」については主に、○事象や出来事の社會的意味を正しく理解することに重きを置く、○実生活で直面する具体的問題を解決することに重きを置く、○社會的事象を認識する、その手法に重きを置くという、3つの立場に分かれて論じられてきた。

子どもたちの社會認識は一般的に、

—①事実認識に基づき、社會的事象についての概念を帰納的に形成する。（事実認識）

—②事象間の關係把握により、社會的事象の概念を關係概念（命題）にまで発展させる。

（關係認識）

—③認識によって形成された關係概念を検証もしくは応用する、社會的事象の有する法則性を研究することにより、社會的事象のもつ社會的意味（事象がそれを含む全体の中でどのように機能しているかを、人々との關係において捉える）を考察する。（意味認識）

といった過程をふみながら段階的に発展すると言われている。社會認識の過程に留意して、授業づくり・授業改善を進め、「科学的社會認識」を育てていきたい。

## 2 研究の具体的内容・方法

（1）研究の柱 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり・授業改善に取り組む。

### 《研究の目的》

主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業づくり・授業改善を進める上で大切な内容を明らかにする。

（2）  
研究  
の内  
容

子どもたちの科学的認識を育成するために、社會認識の過程に十分に留意して、次の内容について研究する。

—①社會的事象の教材化、

—②教師の効果的な指導や支援（発問や板書、資料の提示、資料の活用等）、

—③社會認識の深まりの見取り（学習の評価）、

- ④授業の振り返り（授業の評価）,
- ⑤言語活動の充実（位置付け, 内容）

（3）研究の方法

- ①部会員が持ち寄った提案資料（「一人一実践」など）をもとに，研究の目的に沿って協議する。
- ②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり・授業改善で大切な内容を明らかにし，それを基に研究授業を行い検証する。
- ③研究の目的に資する臨地研修を行う。

### 第3学年社会科学習指導案

授業者 加納岩小学校 伏見 仁美  
(今年度 わかば支援学校勤務)

- 1 大単元名 「変わるわたしたちの暮らし」  
小単元名 「昔の道具と暮らし」

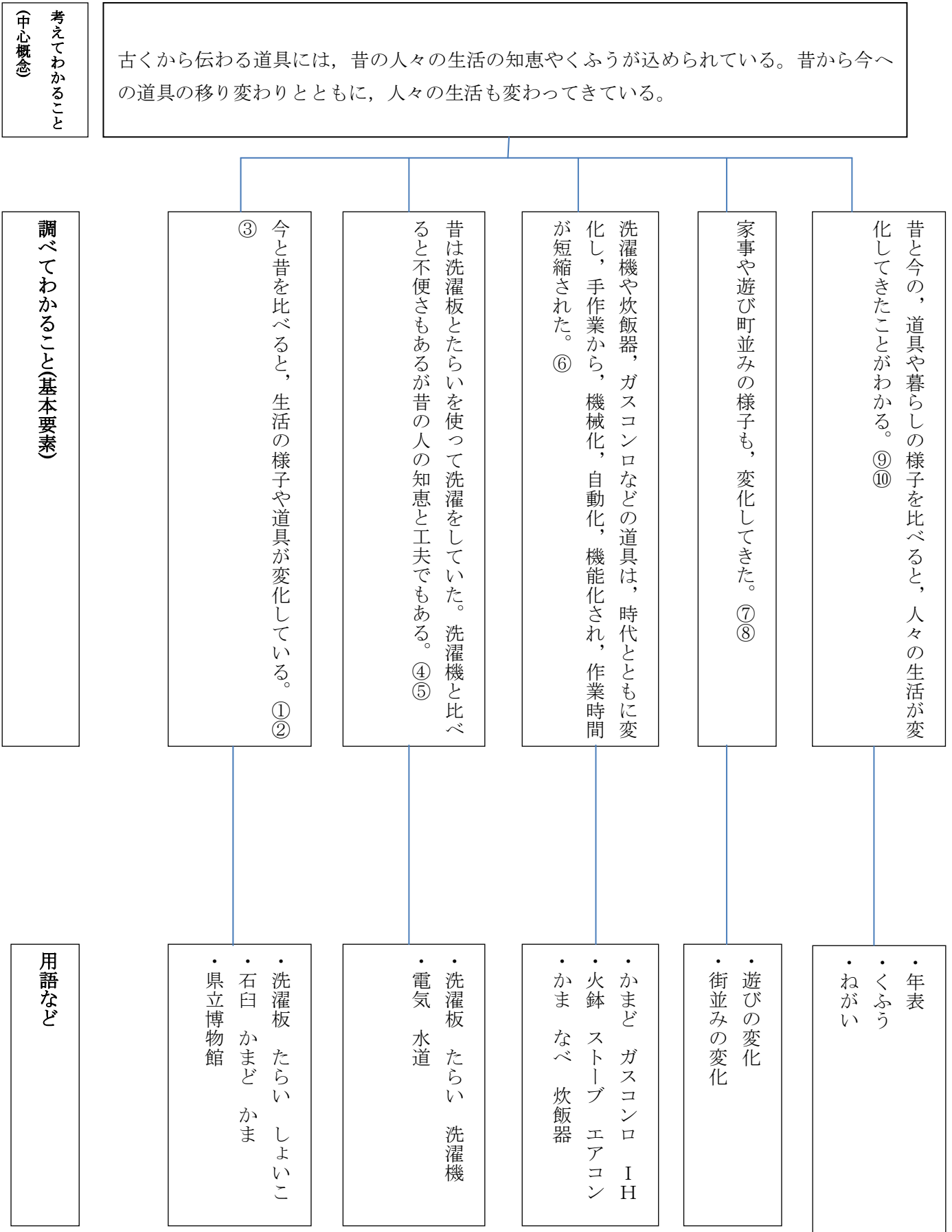
#### 2 小単元の目標

古くから残る暮らしにかかわる道具や、それらを使っていた頃の暮らしの様子について調べ、地域の人々の生活の変化や願い、地域社会のより良い発展について考えるようにする。

#### 3 小単元の評価基準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<p>・古い道具やそれらを使っていた頃の人々の生活の様子について関心を持ち、意欲的に調べようとしている。</p>	<p>・調べたいことや、調べる計画を考え、表現している。</p> <p>・昔の道具を使って感じたことをもとに、道具の変化にともなって生じた人々の生活の変化について考え、表現している。</p>	<p>・道具を観察したり、県立博物館の人に聞いたりして、道具の使い方や使われた時期など、必要な情報を集め、絵カードにまとめている。</p> <p>・昔の生活の様子についてインタビューして、必要な情報を集めている。</p> <p>・調べてきたことを年表にまとめることができている。</p>	<p>・祖父母の世代が子供のころの暮らしの様子を理解している。</p> <p>・父母の世代が子供のころの暮らしの様子を理解している。</p> <p>・昔と今の道具の違いに気づき、道具が変化してきたことや、それに伴って人々の生活も変化してきたこと、道具の工夫や生活の変化には、暮らしをよりよくしようとしたりする願いや努力があったことを理解している。</p>

知識を整理した図



#### 4 単元について

本単元は子供たちにとって初めての歴史学習である。歴史について他人事のように感じるだけで終わらないように、洗濯板などの昔の道具に実際に触れたり、体験したりする活動を取り入れ、自分事として意識していけるように留意したい。また、過去と現在を切り離れた別のものとして認識するのではなく、現在の自分たちの生活につながる事柄としてとらえられるように、年表を作成する活動を取り入れ、現在につながる時間の流れを感じられるようにしたい。その際、三年生という発達段階を考え、細かい時間軸にこだわらず、「おばあさんが子どもだった頃」のように、身近な例に引き付けて年代をとらえさせるようにしていく。

本単元の学習では、児童の実生活にとってより身近な道具である、洗濯機やエアコン、炊飯器などを教材として取り扱い、昔の道具と今の道具との比較により、昔の道具の使い方、使っていた頃の人々の暮らしの様子について具体的についきゅうする単元である。その中で人々の、より快適なもの、より便利なものへの思いや願いが原動力となって、技術や生活が変化してきたことを考えさせたい。また、昔の道具は不便であったというとらえだけで終わらないように、昔の道具のよさについても考え、当時の人々の生活の知恵や工夫から生まれた道具であることもとらえられるようにしたい。

児童はこれまでに、総合的な学習の時間で、桃づくりについて調べたり、体験したりする活動をしてきたが、その中で、草刈の仕事が「鎌→動力刈り払い機→乗用草刈り機」と変化してきたことや、はしごでの作業が、昇降機の導入によって変化したことを学習している。本単元で昔の道具を扱う中で、農業の道具の変化についてもふれていきたい。

#### 5 児童の実態

男子13名、女子12名、計25名の元気なクラスである。課題に対して、まじめに取り組む児童が多い。自分の考えを書くということに関しては特に、一生懸命取り組む姿が見られる。しかし、個人差が大きく、集中力が続かなかったり、話を聞けなかつたりする児童もいる。

発表するという点に関しては、全体の前で積極的に考えを発表する児童は限られてしまっている。一問一答のような課題では挙手できても、考え方を述べるのは抵抗のある児童が多い。そのため、まず自分の考えを書く時間を確保してから、それをもとに自信をもって発言できるようにしている。また、全体の前での発言は難しくても、ペアや班での活動では考えを言うことができる児童も多いので、グループでの活動を積極的に取り入れるようにしている。他にも、机間指導する中で、全体の前でも伝えてほしいことをあらかじめ話しておくようにし、積極的な発言を促すような取り組みをしている。

子供たちの祖父母との関わりについては、アンケートの結果、毎日祖父母と会うという児童が半数おり、週に何回か会うという児童も含めると、クラスのほとんどの児童が日ごろから祖父母とかかわりながら生活していることが分かった。

#### 6 本部会研究との関わり

本実践では、子供たちの科学的認識を育成するために、社会認識の過程に十分に留意する中で、次の内容を中心に研究を進めることとした。

- ①社会的事象の教材化

3年生にとっては、社会科の学習が始まったばかりで、自分の周囲で日々起きている事象については、自分の中の感覚としてしか捉えていない場合がほとんどである。科学的社会認識を育てることを考えると、身の回りで起きている事象の中からどのような事象を取り上げて、「社会的事象」として提示していくのか、また、どのように提示していくのかがとても大切であると考えた。子供たちは洗濯機やエアコン、炊飯器など、家庭の中で当たり前のように使用している道具が時代とともに移り変わってきたものとはなかなか捉えられない。学習の導入時に、今ではあまり目にすることができないレコードを子供たちに提示したり、「総合的な学習の時間」で取り上げた、農家で使用している道具の移り変わりについて学習を振り返ったりすることで、時代とともに道具が移り変わってきていることを改めて捉えさせたい。また、県立博物館の方をお招きしてお話を聞くことや洗濯板を使って実際に洗濯をすること、そして、家族の人が子供の頃に使っていた道具について教えてもらうことなどを通して、社会的事象の教材化を進めるとともに、子供たちの科学的社会認識を育てていきたい。写真や映像など、視聴覚教材も活用する中で、効果的な学習活動を行っていきたい。

- ②教師の効果的な指導や支援（発問や板書、資料の提示、資料の活用等）

博物館の方が用意してくださったものをただ見て終わったり、洗濯板を使用した洗濯の体験をただで終わったりすることがないように、その資料や体験から何がわかるのか、どんなことが考えられるのか、全体で確認する時間を設けるようにする。また、ワークシートを活用して、自分の考えをまとめられるようにする。資料を活用したり、調べたりする場面では、資料の読み方や調べ方について事前に確認するとともに、机間指導や個別での指導の時間の中で支援していきたい。また、自分一人では考えがもてない児童の支援は、ペアやグループでの活動を設け、他の児童との対話を通して、自分の考えを持てるようにしていきたい。

深い学びにつながるように、発問を工夫する。本時では、主発問として「なぜ、道具は時代とともに、移り変わってきたのか」を用意する。子供たちは、今までの学習から、「人々が時間や労力の面で便利さを求めてきたこと、それが道具の移り変わりにつながった」と、考えることができるであろう。その後で、揺さぶり発問「洗濯機の方が便利なのに、なぜ、現在も洗濯板が売られているのだろう」を子供たちに投げかけるのである。子供たちは、洗濯板の良さが時代を超えて現在にも伝えられていることに気づくであろう。

- ③社会認識の深まりの見取り（学習の評価）

学習の評価については、「発言」「ワークシート」「学習感想」などにより行う。「発言」については、全体での発言だけでなく、グループでの活動の中での発言も見取っていくようにしたい。

- ④授業の振り返り

授業の振り返りでは、子供たちにわかりやすい学習問題を設定することに留意したい。学習問題を明確に捉えさせることで、子供たちは目的をもってそれぞれの学習活動に取り組むことができるようになる。振り返りでは、取り組んだ学習活動をもとに、学習問題の解決に関わって自分の考えをまとめさせる。

- ⑤言語活動の充実（位置づけ、内容）

- ・グループや全体での話し合いの場を設定し、自分の考えを伝えるとともに、友達の考えを聞いて

て自分の考えと同じところ、違うところを知り、自分の考えを深めることにつなげる。

- ・自分の考えをワークシートに記入する時間を設定し、文章にすることで自分の考えをまとめるとともに、自信をもって発言することにつなげる。
- ・社会科の特性を踏まえた言語活動にするために、自分の考えを述べる際に、根拠をもとに話せるように意識させる。

## 7 単元の指導計画

時	「題材」 ㊦学習課題	学習のねらい（・）	主な学習活動（○）	評価規準（◇）・（方法）
1	「昔の道具をさがそう」 ①昔はどんな道具が使われていたのだろう。	<p>・昔の暮らしの様子が描かれた絵を見て、昔の道具やそれらを使っていた頃の人々の暮らしについて関心をもち、学習問題と学習計画を立てることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><b>学習問題</b> 昔の道具について調べよう。</p> </div>	<p>○レコードを見たり、聞いたりして、音楽を聴くための道具の変化に気づく。</p> <p>○「総合的な学習の時間」での、桃農家の使う道具の移り変わりの話を思い出し、道具の移り変わりについて学習していくことを知る。</p> <p>○昔の暮らしの様子が描かれた絵を見て、昔の道具を探したり、今の道具と比較したり、また、それらの使い方を考えたりする。</p>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b> ◇昔の道具やそれらを使っていた頃の人々の暮らしについて関心をもち、意欲的に調べようとしている。(発言・ワークシート)</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ◇調べたいことや調べる計画を考え、表現している。(発言・ワークシート)</p>
2	「昔の道具をしらべよう」 ②昔の道具についてどのように調べたらよいだろう。	<p>・学習問題を解決するために、調べる方法を確認する。(資料館に行く、知っている人を訪ねる、本で調べるなど)</p> <p>・「道具調べカード」へのまとめ方を確認する。(「道具の名前」「使い方」「いつ頃使っていたか」などのポイントにそってまとめる)</p>	<p>○教科書の記述や家の人に聞いたこと、パソコンで調べたことをもとに、学習問題を解決するための調べ方を考える。(インタビューをする、資料館に行く、本で調べるなど)</p> <p>○「道具調べカード」へのまとめ方を確認する。(「道具の名前」「使い方」「いつ頃使っていたか」などのポイントにそってまとめる)</p>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b> ◇昔の道具調べに関心をもち、調べ方やまとめ方に意欲的に確認しようとしている。(発言・ワークシート)</p>

3 4	「昔の道具を しらべよう」 ③博物館の方 の話聞いて、昔の道具 を知ろう。	・実物を見たり、博物館の 方の話を聞いたりする中 で、昔の道具についての知 識を深めるとともに、実物 に触れることで、昔の道具 に対する関心を高める。	○博物館の方の話を聞い たり、質問したりする。	【関心・意欲・態度】 ◇博物館の方の話に興味 をもち、意欲的に質問し たり、聞き取ったことを ワークシートにまとめたり している。 (発言・ワークシート)
5	「昔の道具を しらべよう」 ④体験したこ とを道具調べ カードにまと め、発表しよ う。	・体験したことを道具調べ カードに整理するとともに、 体験して感じたことを ワークシートにまとめる。	○前時に体験した道具に ついて、道具調べカード にまとめる。 ○体験した感想をワーク シートにまとめ、昔の道 具についての理解を深め る。	【技能】 ◇道具を観察したり、博物 館の方に聞いたりしたこ とをもとに、道具の使い 方や使われた時期などを 道具調べカードにまとめ ている。(ワークシート) 【思考・判断・表現】 ◇体験を通して感じたこ とや気づいたことを、ワ ークシートに表現してい る。(ワークシート)
6 本 時	「道具のうつ りかわり」 ⑤洗濯板など の道具は、な ぜうつりかわ ったのだろ う。	・昔の道具を使った体験を 通して、気づいたことをも とに、道具がなぜ移り変わ ってきたのかを考える。	○洗濯板を使つての洗濯 が、洗濯機を使つての洗 濯に移り変わってきたこ とを知る。 ○かまどでの炊飯が炊飯 器に移り変わったことを 知る。 ○洗濯板などの道具が、 なぜ移り変わってきたの かを考える。 ○現在も洗濯板が売られ ていることを知り、昔の 道具にも、昔の人の知恵 や工夫があることに気づ く。	【思考・判断・表現】 ◇昔の道具を使つて感じ たことをもとに、道具の 変化に伴って生じた人々 の生活の変化について考 え、表現している。(発 言・ワークシート)
7	「おじいさん おばあさんが 子どものころ (50～60	・祖父母の世代の人々に子 供の頃の暮らしの様子を尋 ねて調べ、道具や暮らしが どのように変化してきたの	○祖父母の世代の人々 に、昔使つていた道具の ことや、暮らしの様子に ついて質問し、わかつた	【技能】 ◇祖父母などに子どもの ころの暮らしについてイ ンタビューし、必要な情



	<p>年前)」</p> <p>⑥おじいさんおばあさんが子どものころは、どんな生活をしていただろう。</p>	<p>かについて捉える。</p>	<p>ことや、考えたことをノートにまとめる。</p>	<p>報を集め表現している。(行動観察・ワークシート)</p>
8	<p>「お父さんお母さんが子どものころ(30～40年前)」</p> <p>⑦お父さん、お母さんが子どものころは、どんな生活をしていただろう。</p>	<p>・父母の世代の人々に、子供の頃の暮らしの様子を尋ねて調べ、道具や暮らしがどのように変化してきたのかについて捉える。</p>	<p>父母の世代の人々に遊びの様子や町の様子、使っていた電化製品などについて質問し、分かったことや考えたことをワークシートにまとめる。</p>	<p><b>【技能】</b></p> <p>◇父母などに子どものころの暮らしについてインタビューし、必要な情報を集め表現している。(行動観察・ワークシート)</p>
9 10	<p>「年表をつくらう」</p> <p>⑧今まで学習してきたことを年表にまとめよう。</p>	<p>作成してきた絵カードを活用し、道具の進歩とくらしや社会の変化を関連づけてとらえ、年表にまとめることができるようにする。」</p>	<p>絵カードを活用して、時代ごとに区分して道具の移り変わりや人々の生活の変化がわかる年表を作成する。</p>	<p><b>【知識・理解】</b></p> <p>道具の変化には、暮らしをよりよくしようとする人々の願いや努力があったことを理解している。(ワークシート)</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>道具の移り変わりや人々の暮らしの変化を、関連付けて表現している。(ワークシート)</p>

## 8 本時の学習

(ア)日時 平成31年2月6日(水) 5校時(14:00～14:45)

(イ)場所 加納岩小学校 3年1組教室

(ウ)題材 「むかしの道具とくらし」

(エ)目標

- ・昔の道具を使って感じたことをもとに、道具の変化に伴って生じた人々の生活の変化について考えることができる。

(オ) 評価規準

- ・昔の道具を使って感じたことをもとに、道具の変化に伴って生じた人々の生活の変化について考え、表現している。【思考・判断・表現】

(カ) 本時の展開

展開(分)	学習内容 (No., ・)	指導上の留意点(・)と評価(★)
導入 10分	1 前時までの学習を振り返る。 ・洗濯板を使っての洗濯と、洗濯機を使っての洗濯を体験したことを想起する。 ・かまどを使って米を炊いていたことを想起する。  2 現在の道具について知る。 ・洗濯板での洗濯は洗濯機へ、かまどでの炊飯は炊飯器へと、道具が変化したことを知る。  3 学習課題を知り、本時の学習の流れを見通す。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>本時の課題</b>              洗濯板やかまどなどの道具は、なぜうつりかわったのだろう。           </div>	・前時で体験した時の写真を提示し、前時の学習内容を想起させる。  ・写真を用いながら、何が何に変化したのかを抑える。
展開 5分	4 ワークシートに自分の考えを書く。	・ワークシートを用意する。 ・自分の考えを書くのが難しい児童には、ペアでの話し合いを促す。
5分	5 班ごとに話し合う。 ・体験した時の感想などをもとに、「なぜ道具が移り変わったのか」について話し合い、班ごとホワイトボードにまとめる。	・根拠が明確になるようにさせる。 <b>【思考・判断・表現】</b>
10分	6 全体で発表し合う。 ・班で出た意見を出し合い、道具が移り変わった理由について全体で確認しあう。 ・人々が時間や労力などの面で便利さを求めたことで、道具が変化してきたことを知る。	<b>★昔の道具を使って感じたことをもとに、道具の変化に伴って生じた人々の生活の変化について考え、表現している。(ワークシート・発言)</b>
	7 現在も売られている洗濯板について考える。	・根拠があいまいな場合は教師が

5分	・「洗濯機のほうが便利になっているのに、なぜ現在も洗濯板が売られているのだろう。」	問いかえす。  ・洗濯板の良さが時代を超えて現在に伝えられていることにふれる。
振り返り 10分	8 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">本時のまとめ ○人々が時間や労力などの面で便利さを求めたことで、道具が変化してきている。 ○昔の道具には先人の知恵が詰まっている。</div> 7 学習感想を書く。	・人々の工夫がそれぞれの時代にあり、よりよい生活を人々が求めたことをおさえる。  ・取り組んだ学習活動をもとに、本時の課題の解決に関わって自分の考えをまとめさせる。

(キ) 評価の具体

【昔の道具を使って感じたことをもとに、道具の変化に伴って生じた人々の生活の変化について考え、表現している。】

Aの児童の姿	評価規準を実現した姿	Cの児童への手立て
○体験をとおして感じたことをもとに、人々が便利さを求めて道具が変化してきたことなどについて考えている。	○体験をとおして感じたことをもとに、道具の移り変わりにより、人々の生活が、時間の面や労力の面で、便利になってきたことに気づいている。	○ただ便利になったというだけでなく、道具の移り変わりにより、具体的に何が便利になったのか、考えさせる。
評価方法：ワークシート、話し合いの様子や発言		

(ク) 板書計画



④め 洗濯板やかまどなどの道具は、なぜ移り変わったのだろう。


**便利**

- ・短時間
- ・冷たくない
- ・他の仕事ができる
- ・・・

昔の道具にも良さがある

- ・電気
- ・安く手に入る
- ・汚れが落ちる



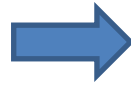
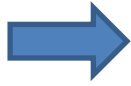
④ま 便利な生活をもとめて、人々が道具を変化させてきた。昔の道具にも人々の工夫が詰まっている。

社会科ワークシート ④(本時)

名前( )

めあて

せんたくいた 洗濯板やかまどなどの道具は、なぜうつりかわったのだろう。



( )

( )

( )



( )

( )

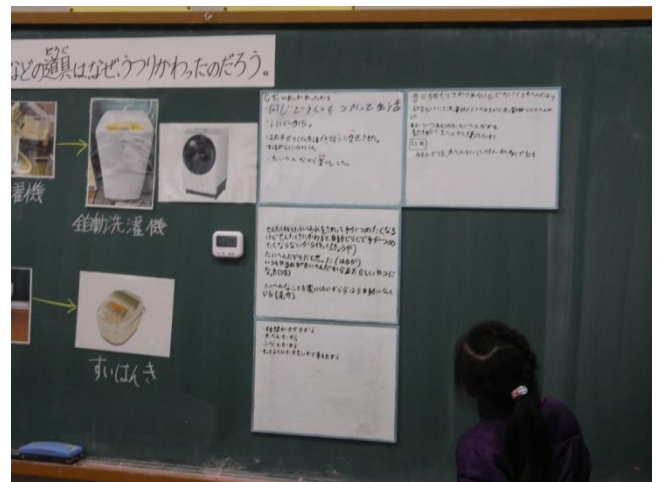
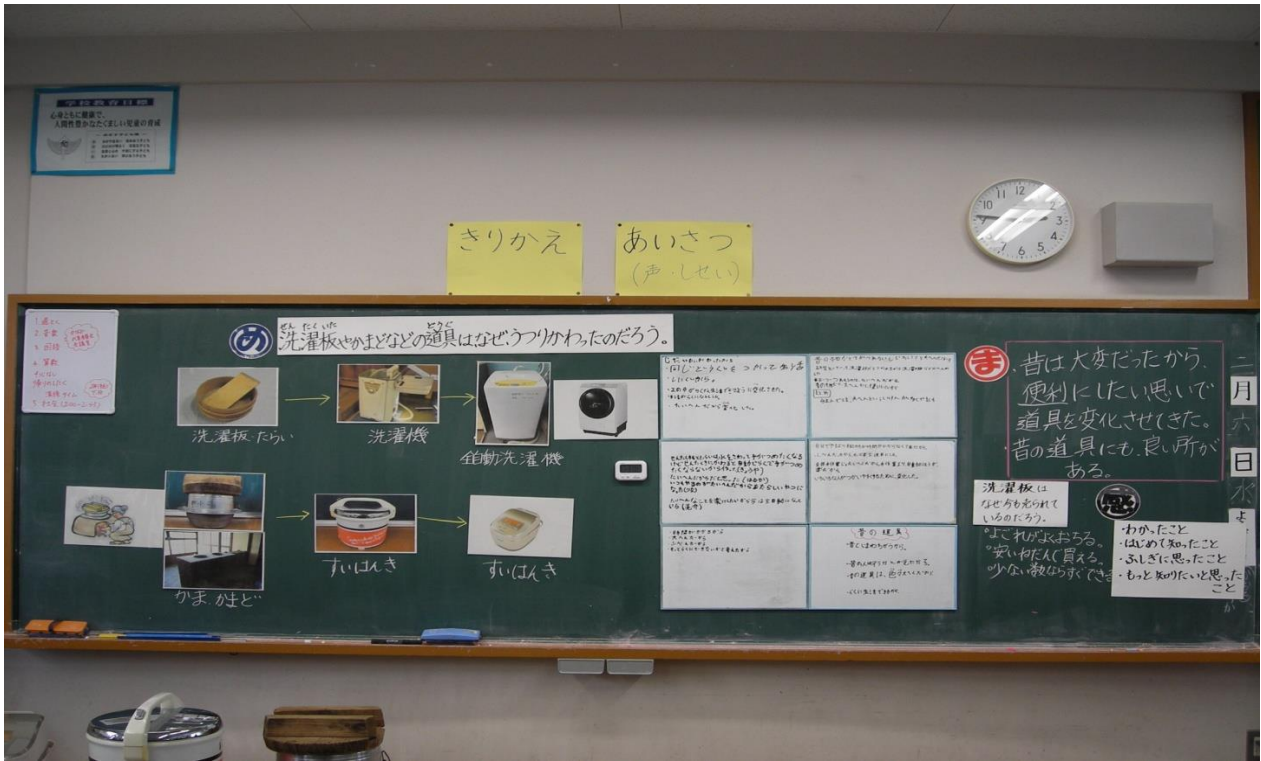
( )

せんたくいた せんたくき すいはんき へんか  
○洗濯板やかまどなどの道具は、なぜ洗濯機や炊飯器に変化したのでしょうか。

自分の考えを書きましょう。

まとめ

○学習感想

## 10 成果と課題（研究会より）

### 成果

- ・小学校における歴史学習の導入単元なので、子どもが興味を失わないように、実物資料、映像資料、体験活動など、興味・関心をもつことができるように、単元構成が工夫されていた。
- ・3年生の段階で班ごとに話し合いでまとめる活動ができていた。子どもから意見がはっきりと出ていた。
- ・社会科の見方・考え方のうち、時間の視点、変化・発展の視点、継承の視点が仕込まれていた。
- ・ゆさぶり発問など授業の構成がしっかりしていた。
- ・昔の道具を使った体験や道具についての調べ学習から、昔の人々の苦労や工夫を子どもたちが感じとっていた。

### 課題

- ・班ごとにホワイトボードで同じ意見をまとめる活動について、班によってレベル差があった。まとめの仕方が今後の課題である。（ホワイトボードの使い方 短文で字を大きく書くことも含めて）
- ・洗濯機や洗濯板の道具の変化については体験から想起できたが、炊飯器については体験がない子は、道具の移り変わりについて考えられていなかった。
- ・「なぜ」のゆさぶりをするとき、作業時間・コストの視点を示すと、考えに広がりが出たのではないかな。

### 指導・助言

- ・小学校、中学校で互いに授業を見ることに意義がある。
- ・「便利である」「女性の立場」など多面的な見方をしていくことが大切。
- ・小学校段階での新鮮な思考が大切。教科書通りではない工夫も必要。
- ・中学校でも成長を踏まえて授業をすることが必要で、小学校の授業を見ることができよかった。
- ・話し合いの活動が書いて終わってしまった。そこでのやりとりができていくことが必要。
- ・変化の激しい時代であるため、それに応じる力をつけていく。

名前( )

昔の道具をさがそう

めあて

昔はどんな道具が使われていたのだろう。



( )



( )



( )

○草を刈る道具はどのように変化していただろう。総合で学習したことを思い出して書いてみよう。

○教科書 P107 を見て, 昔の道具をさがしてみよう。

○学習感想

今日の学習を通して…

- ・わかったこと
  - ・はじめて知ったこと
  - ・不思議に思ったこと
  - ・もっと知りたいと思ったこと
  - ・友達の意見を聞いてなるほどと思ったこと
- などを書きましょう。




名前( )

## 昔の道具を調べよう

**めあて** 昔の道具について、どのように調べたらよいだろう。

○昔の道具について調べるにはどのような方法があるでしょうか。

**☆調べたことを道具調べカードにまとめよう！**

○道具について、どんなことをカードに書けば分かりやすくまとめられるだろう。

○学習感想

今日の学習を通して…

- ・わかったこと
  - ・はじめて知ったこと
  - ・不思議に思ったこと
  - ・もっと知りたいと思ったこと
  - ・友達の意見を聞いてなるほどと思ったこと
- などを書きましょう。


めあて

せんたくいた てんびんぼう いしうす たいけん  
洗濯板, 天秤棒, 石臼を体験して感じたことをふりかえろう。

せんたくいた  
○洗濯板とたらいでの洗濯を体験して感じたこと

てんびんぼう たいけん  
○天秤棒を体験して感じたこと

いしうす たいけん  
○石臼を体験して感じたこと

☆洗濯機での洗濯を体験して感じたこと